

テリハボク

か めい
科名 テリハボク

べつ めい
別名 ヤラボ

がくめい
学名 Calophyllum inophyllum



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 おきなわ おがさわら ねったい
沖縄、小笠原、熱帯アジア、ポリネシア、
マダガスカル

は かたち
葉 の 形 だえんけい
楕円形

は ふち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 どんけい おうけい
鈍形、凹形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい
葉 の 付方 対生

は き ぶ えんけい
葉 の 基部 円形

み しゅるい かくか
実 の 種類 核果

は な がくいろ しろいろ
花 ・ 萼 色 白色

せい せつ
めい 明 かいがん ぼうちょうりん ぼうふうりん りよう たか きょうこうぶ けい いじょう
海岸などで防潮林、防風林に利用されており、高さ 20m、胸高部の径80 cm以上になる
じょうりよく 高木です。葉はたいせい、かくしつ、だえんけい、なが はば
常緑の高木です。葉は対生し、革質、楕円形で長さ 15 cm、幅 5 cmくらいになります。ま
た、葉の側脈は多数の平行脈になっています。花はふつつ夏に咲きますが、数回咲くこと
があります。しろいろ ほうこう けい み かくか かくない こ しゅし
があります。白色で芳香があり径2-2.5 cmです。実は核果で核内に 1個の種子があります。